



## 2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年7月30日

上場会社名 共立印刷株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7838 URL <https://www.kyoritsu-printing.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 景山 豊  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理統括 (氏名) 田坂 優英 (TEL) 03-5248-7800  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	8,797	30.2	389	—	354	—	217	—
2021年3月期第1四半期	6,757	△36.9	△345	—	△377	—	△405	—

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 198百万円(—%) 2021年3月期第1四半期 △288百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	4.78	4.75
2021年3月期第1四半期	△8.93	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	43,016	15,645	36.3
2021年3月期	43,917	15,446	35.0

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 15,603百万円 2021年3月期 15,385百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	1.50	—	1.50	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,250	17.0	600	—	490	—	280	—	6.16
通期	38,000	3.4	1,200	64.4	1,000	81.3	580	—	12.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	49,020,000株	2021年3月期	48,905,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	3,481,550株	2021年3月期	3,481,550株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	45,452,200株	2021年3月期1Q	45,370,950株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 8
(会計方針の変更)	P. 8
(追加情報)	P. 8
(収益認識関係)	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染拡大が未だに収束せず、度重なる緊急事態宣言により経済活動に大きな影響があり、依然として先行き不透明な情勢が続いております。

こうした環境のなか当印刷業界におきましては、新型コロナウイルス感染症対策の影響による折込チラシの減少に加えて、旅行や飲食関連の印刷関連媒体の受注量が落ち込むとともに、消費者の購買活動が今まで以上にインターネットへ移行しており、大変厳しい経営環境にあります。

このような状況下にあつて、当社グループは、依然として印刷物の受注量はコロナ禍により減少基調が継続しておりますが、前期よりグループ会社全体で取り組んでおります事業構造改革を継続することで利益の確保に努めるとともに、新規事業領域の拡大を進めて、グループ全体の発展と成長へ取り組んでおります。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高が前年同四半期と比べ20億4千万円(30.2%)増収の87億9千7百万円、営業利益は3億8千9百万円(前年同四半期は3億4千5百万円の営業損失)、経常利益は3億5千4百万円(前年同四半期は3億7千7百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億1千7百万円(前年同四半期は4億5百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)になりました。

#### (売上高)

売上高は前年同四半期と比べ20億4千万円(30.2%)増収の87億9千7百万円になりました。

商業印刷につきましては、前年大きく減少していた集客に結び付く折込チラシやダイレクトメールがゆるやかに回復し、前年同四半期と比べ19億3千5百万円(35.9%)増収の73億2千6百万円になりました。

出版印刷につきましては、旅行関連媒体の受注は依然回復するに至らなかったものの、子会社の電子書籍関連の受注などは堅調であったことなどにより、前年同四半期と比べ9千9百万円(7.6%)増収の14億円になりました。

#### (営業利益)

営業利益は3億8千9百万円(前年同四半期は3億4千5百万円の営業損失)になりました。これは、前年コロナ禍により大きく減少した売上高がゆるやかに回復したことに加えて、事業構造改革による事業再編が奏功したことなどによりです。

#### (経常利益)

経常利益は3億5千4百万円(前年同四半期は3億7千7百万円の経常損失)になりました。これは、営業利益が回復したことなどによりです。

#### (親会社株主に帰属する四半期純利益)

親会社株主に帰属する四半期純利益は2億1千7百万円(前年同四半期は4億5百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)になりました。これは、経常利益が回復したことなどによりです。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2.5%減少し、244億8千7百万円となりました。これは、現金及び預金が増加したものの、受取手形及び売掛金が減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.5%減少し、185億2千8百万円となりました。これは、リース資産やのれんが償却により減少したことなどによります。

これらの結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.1%減少し、430億1千6百万円となりました。

### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて9.2%減少し、144億9千6百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金や電子記録債務が減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ2.9%増加し、128億7千4百万円となりました。これは、リース債務が減少したものの、手元資金を厚くするため長期借入金が増加したことなどによります。

これらの結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて3.9%減少し、273億7千1百万円となりました。

### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて1.3%増加し、156億4千5百万円となりました。これは、利益剰余金が増加したことなどによります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、前期より取り組んでおります事業構造改革を継続することで利益率の向上に努めるとともに、世界的にESGへの関心が高まるなか、当社グループは成長戦略のひとつとして、生分解性プラスチックの製造に特化した株式会社今野を当期7月に完全子会社化することで、フィルムパッケージ分野への進出にも取り組んでまいります。

当連結会計年度(2022年3月期)の業績見通しにつきましては、売上高380億円、営業利益12億円、経常利益10億円、親会社株主に帰属する当期純利益5億8千万円を見込んでおります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,674,737	15,897,756
受取手形及び売掛金	8,022,036	6,118,148
電子記録債権	1,027,907	1,253,751
棚卸資産	1,087,264	977,916
その他	315,827	259,134
貸倒引当金	△19,712	△18,738
流動資産合計	25,108,060	24,487,969
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,124,420	6,042,755
土地	6,017,007	6,017,007
リース資産（純額）	2,623,718	2,455,688
その他（純額）	1,407,826	1,403,277
有形固定資産合計	16,172,973	15,918,729
無形固定資産		
のれん	269,336	244,899
その他	199,618	213,241
無形固定資産合計	468,954	458,141
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	11,541	13,888
その他	2,176,599	2,158,138
貸倒引当金	△20,733	△20,732
投資その他の資産合計	2,167,408	2,151,294
固定資産合計	18,809,337	18,528,165
資産合計	43,917,397	43,016,134

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,116,539	3,721,575
電子記録債務	3,735,672	3,564,468
短期借入金	210,000	210,000
1年内返済予定の長期借入金	4,625,142	4,795,487
リース債務	961,484	939,242
未払法人税等	91,834	70,486
賞与引当金	189,218	95,284
その他	1,028,158	1,100,280
流動負債合計	15,958,051	14,496,826
固定負債		
長期借入金	8,805,664	9,409,681
リース債務	2,825,203	2,597,357
退職給付に係る負債	809,677	793,253
資産除去債務	34,564	34,721
その他	38,110	39,185
固定負債合計	12,513,220	12,874,198
負債合計	28,471,271	27,371,024
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,364,862	3,374,740
資本剰余金	3,358,992	3,368,870
利益剰余金	8,553,158	8,770,400
自己株式	△700,023	△700,023
株主資本合計	14,576,989	14,813,986
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	779,645	760,313
退職給付に係る調整累計額	28,721	29,680
その他の包括利益累計額合計	808,367	789,993
新株予約権	60,769	41,129
純資産合計	15,446,126	15,645,109
負債純資産合計	43,917,397	43,016,134

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
売上高	6,757,040	8,797,215
売上原価	6,242,518	7,654,447
売上総利益	514,522	1,142,768
販売費及び一般管理費	859,807	753,496
営業利益又は営業損失(△)	△345,285	389,271
営業外収益		
受取配当金	17,147	16,811
その他	6,945	1,280
営業外収益合計	24,093	18,091
営業外費用		
支払利息	55,845	51,104
その他	126	1,489
営業外費用合計	55,971	52,593
経常利益又は経常損失(△)	△377,163	354,770
特別利益		
固定資産売却益	-	100
その他	49	-
特別利益合計	49	100
特別損失		
固定資産除却損	938	14,387
その他	-	653
特別損失合計	938	15,041
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△378,052	339,829
法人税等	27,132	122,587
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△405,184	217,241
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△405,184	217,241



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△405,184	217,241
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	115,030	△19,332
退職給付に係る調整額	1,541	958
その他の包括利益合計	116,571	△18,373
四半期包括利益	△288,612	198,868
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△288,612	198,868
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

○税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

当社及び連結子会社は、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準第30号 2020年3月31日)(以下「収益認識会計基準等」という。)の適用に伴い、当連結会計年度の期首から収益認識会計基準等を適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。この結果、利益剰余金の当期首残高、当連結会計年度の損益及び1株当たり情報に与える影響はありません。

また、顧客に支払われる対価については、従来、販売費および一般管理費として処理する方法によっておりましたが、取引価格から減額する方法に変更しております。この変更により連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

当社及び連結子会社は、「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(収益認識関係)

## 【売上高の情報並びに収益の分解情報】

	前第1四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)		対前年同四半期	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
売上高	千円	%	千円	%	千円	%
商業印刷	5,390,625	79.8	7,326,289	83.3	1,935,664	35.9
出版印刷	1,301,074	19.3	1,400,265	15.9	99,190	7.6
その他	65,340	1.0	70,660	0.8	5,319	8.1
顧客との契約から生じる収益	6,757,040	100	8,797,215	100	2,040,174	30.2
外部顧客への売上高	6,757,040	100	8,797,215	100	2,040,174	30.2